

地域需要創造型等起業・創業促進補助金採択者事例

「企業組合スルーエイジ農園」千石 信夫(せんごく のぶお)氏 【地域需要創造型起業・創業】(宮城県)

山元町における震災復興のための新規農業ブランドの立ち上げと、それに伴う雇用の創出、中高年・若者・障害者等の就労支援のためのトマトプロジェクトの実施

【事業テーマ】 被災地山元町における職場の創出と障害者の就労支援のための
トマトプロジェクトの実施

【設立日】平成25年5月27日 【創業場所】宮城県亘理郡山元町

【創業を志した経緯・きっかけはなんですか？】

東日本大震災に被災した地域の中で、宮城県南部の山元町も津波による甚大な被害を被りました。震災復興のためには、地場産業の新規立ち上げと雇用の創出、交流人口の増加、定住促進が不可欠です。

そこで、山元町や仙台市の生涯現役を目指す団塊世代を中心とした中高年が立ち上がり、企業組合を設立しました。これまでに中高年が培ってきた経験を活かし、新しい地域おこしのため地域の人と中高年、若者という様々な人々がともに働くことで、協力して事業の創出を行い、農業生産物の六次産業化を目指すことになりました。

【現時点での事業展望を教えてください！】

山元町のイチゴ、リンゴに続く第三のブランドとしてイタリアントマトを産業として育て、六次産業化を目指します。具体的には、仙台圏で販売を拡大し、ブランド化を図り、直売所やイタリアンレストランを中心とした“観光農園”の開設等を将来の目標として、交流人口の増加を実現し、山元町の震災復興に貢献していきます。

【創業補助金活用のために支援を受けた機関】

(認定支援機関) 宮城県中小企業団体中央会

(支援内容) 組合設立、運営アドバイス等のフォローアップ

